

令和3年度

千葉県クリーニング師試験 筆記試験問題用紙

【指示があるまで開いてはいけません】

(注意事項)

- 1 問題の解答は別に配付している答案用紙にマークしてください。
- 2 答案用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。
- 3 試験は1時間で、問題の数は40問（解答数40）です。
- 4 各問題には A～D までの4つの選択肢がありますので、正解と思うものを1つ選び、答案用紙にマークしてください。マークは、鉛筆またはシャープペンシルで答案用紙のマーク記入例にならって、枠内を濃くはっきり塗りつぶしてください。解答をまちがえた時は、消しゴムで完全に消してからマークしてください。
正解は、1問につき1つしかないので、2つ以上マークしないでください。2つ以上マークした場合、その解答は無効になります。

【例】 問題用紙 3 日本の本州にある都府県として、正しいものは下の
A～Dのうちどれか。

ア 福岡

イ 愛知

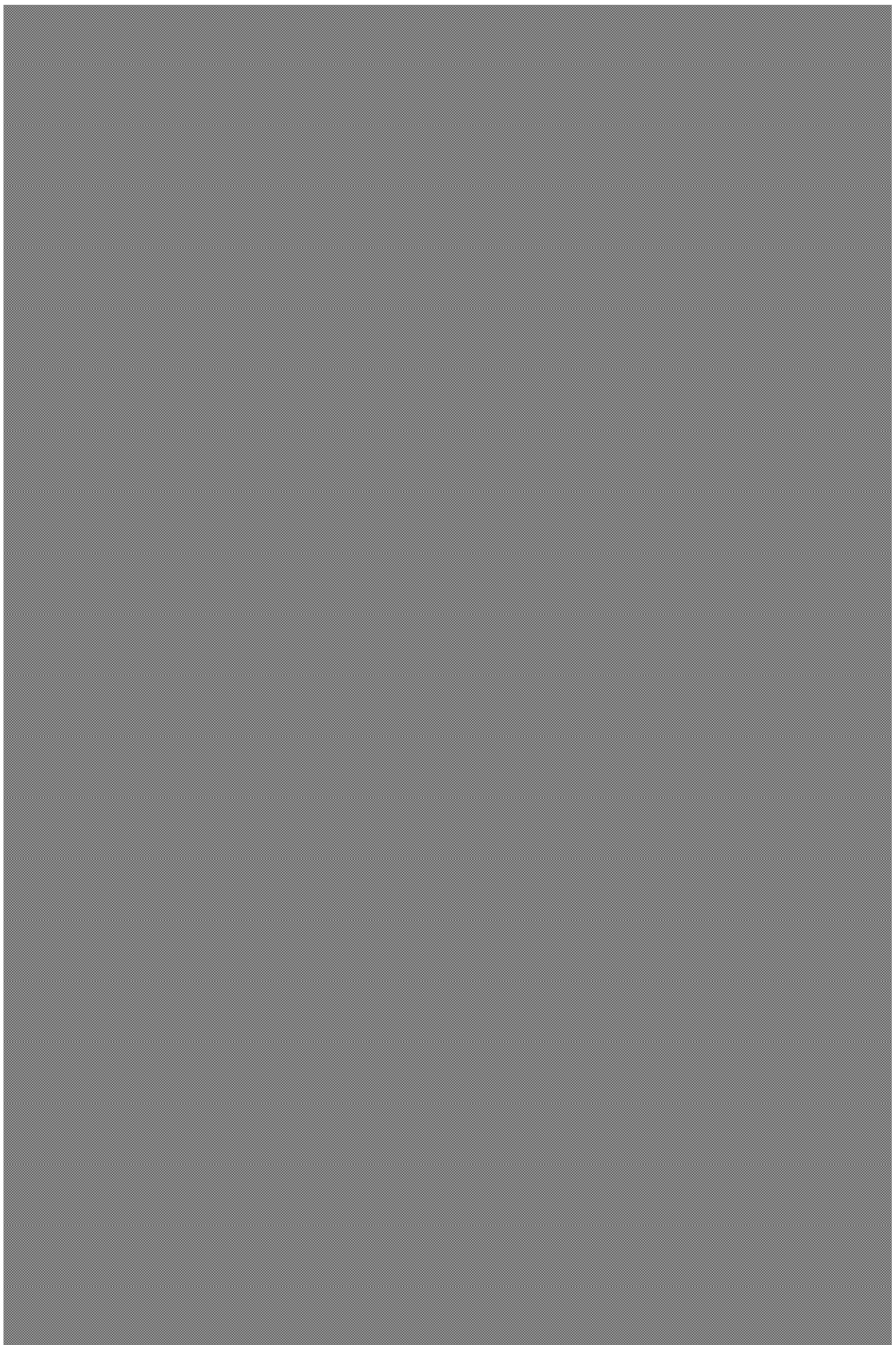
ウ 大阪

A (アとイ) B (イとウ) C (イのみ) D (ウのみ)

正解は B ですので、答案用紙の B 列のマークを鉛筆等ではっきりぬりつぶしてください。

答案用紙 3    

- 5 試験終了時、答案用紙を回収します。この問題用紙は、持ち帰ることができます。



衛生法規に関する知識

1 クリーニング業法の目的について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- ア クリーニング業に対して、公衆衛生等の見地から必要な指導及び取締りを行う。
- イ クリーニング業の経営を公共の福祉に適合させる。
- ウ クリーニング業の営業者の利益の最大化を図る。

A (アとイ) B (アとウ) C (イとウ) D (アのみ)

2 クリーニング所について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- ア 洗たく物の処理又は洗たく物の受取及び引渡しのための営業者の施設をいう。
- イ クリーニング所を開設しようとする者は、必要な事項をあらかじめ都道府県知事に届け出なければならない。
- ウ クリーニング所以外の場所でも、営業者が所有する施設であれば、洗たく物を処理する営業が可能である。

A (アとイ) B (イとウ) C (アのみ) D (ウのみ)

3 クリーニング師について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- ア 都道府県が実施する試験に合格した者及びクリーニング業に一定期間従事した者に免許が与えられる。
- イ クリーニング業に関し犯罪を犯して罰金以上の刑に処せられたときは、免許を取り消されることがある。
- ウ クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、都道府県知事が指定した研修を受けなければならない。

A (アとイ) B (アとウ) C (イとウ) D (イのみ)

4 営業者の衛生措置について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- ア クリーニング所及び業務用の車両並びに業務用の機械及び器具を清潔に保たなければならない。
- イ クリーニング所に、業務用の機械として洗濯機及び脱水機をそれぞれ複数台備えなければならない。
- ウ 洗場の床は、不浸透性材料で築造し、適当な勾配と排水口を設けなければならない。

A (アのみ) B (イのみ) C (ウのみ) D (イとウ)

5 クリーニング師の設置について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- ア 営業者は、洗たく物の処理を行うクリーニング所ごとに、2人以上のクリーニング師を置かなければならない。
- イ 洗たく物の受取及び引渡しのみを行うクリーニング所には、クリーニング師を置く必要がない。
- ウ 営業者がクリーニング師である場合は、洗たく物の処理を行う複数のクリーニング所をクリーニング師を置かずに営業することができる。

A (アとイ) B (イとウ) C (アのみ) D (イのみ)

6 クリーニング所における苦情の申出先の明示方法について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- ア 苦情の申出先となるクリーニング所の名称、所在地、電話番号を店頭に掲示しておく。
- イ 洗たく物の受取及び引渡しをしようとする際に、クリーニング所の名称、所在地、電話番号を記載した書面を配付する。
- ウ 車両を用いた無店舗取次店では、苦情の申出先となるクリーニング所の名称を車体に明記する。

A (アとイ) B (アのみ) C (イのみ) D (ウのみ)

7 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれがあるものとして厚生労働省令で指定されているものについて、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- ア おむつ、パンツその他これらに類するもの
- イ 手ぬぐい、タオルその他これらに類するもの
- ウ ホテル、旅館で使用された寝具その他これに類するもの

A (アとイ) B (アとウ) C (イとウ) D (アのみ)

8 クリーニング所を開設する際に届出が必要な事項について、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- ア クリーニング所の名称
- イ クリーニング所の営業時間
- ウ クリーニング所の開設予定年月日

A (アのみ) B (イのみ) C (ウのみ) D (イとウ)

9 クリーニング師免許について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- ア 免許証を紛失したときは、1か月以内に、免許を与えた都道府県知事に再交付を申請しなければならない。
- イ 免許証の再交付申請後、紛失した免許証を発見したときは、1か月以内に免許を与えた都道府県知事に提出しなければならない。
- ウ 本籍又は氏名を変更したときは、10日以内に免許を与えた都道府県知事に免許証の訂正申請をしなければならない。

A (アとイ) B (イとウ) C (アとウ) D (ウのみ)

10 クリーニング所を開設しないで洗濯物の受取及び引渡しをする営業について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- ア 主に営業する区域を管轄する都道府県知事に届出をすることで、隣接する都道府県でも営業できる。
- イ 業務用車両については、自動車登録番号又は車両番号及び車両の保管場所を届け出る必要がある。
- ウ 従事者中にクリーニング師がいる場合は、その本籍、住所、氏名及び生年月日並びに登録番号の届出が必要である。

A (アとイ) B (イとウ) C (アとウ) D (ウのみ)

公衆衛生に関する知識

1 1 テトラクロロエチレンについて述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A 「クリーニング業法」では有害物質に指定され、再利用が禁止されている。
- B 光化学スモッグに関係する光化学オキシダントの原因物質となるVOC（揮発性有機化合物）のひとつである。
- C クリーニング所で使用されたテトラクロロエチレンを廃棄する場合は、一般廃棄物として取り扱い、管理責任者の設置や処理の記録を保存する必要はない。
- D 現在、「有機溶剤中毒予防規則」による規制の対象となっており、その規則に基づく管理を求められている。

1 2 環境衛生について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 水道水の水源には地表水、地下水などがあり、それらの水源の水質確保については特に規制等は定められていない。
- B 下水道の完備は、腸チフスや赤痢などの伝染病の発生を減少させた。
- C 廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」では一般廃棄物と産業廃棄物に区分される。
- D 人の健康や生活環境に被害を及ぼす恐れのある廃棄物を特別管理廃棄物といい、厳しい規制を行っている。

1 3 クリーニング店における感染症対策について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 手洗いの徹底は、経口感染をする感染症の予防に効果がある。
- B 多くの微生物は乾燥環境を好むため、洗濯物は湿潤状態で保管すべきである。
- C 洗濯前の委託物に触れる場合には、マスクとエプロンの着用と取扱い後の手洗いが重要である。
- D 従業員の健康管理については、従業員自ら健康状態を申告することを徹底し、症状がある場合には医療機関への受診を勧める。

1 4 衛生害虫について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A コロモジラミは、吸血により激しいかゆみを起こし、発疹チフスの病原体であるリケッチアを媒介する。
- B トコジラミは、シラミの仲間ではなくカメムシの仲間ナンキンムシとも呼ばれる。
- C 蚊は、日本脳炎、マラリア、デング熱などの重篤な病気を媒介する。
- D ヒョウヒダニ類は、吸血することにより気管支炎やアトピー性皮膚炎を起こすことがある。

15 病原体別の分類による感染症の種類のご組合せのうち、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- | | | | |
|---|------------|---|-------------|
| A | ウイルスによるもの | － | コレラ、腸チフス |
| B | 原虫によるもの | － | マラリア、アメーバ赤痢 |
| C | 細菌によるもの | － | 痘瘡、日本脳炎 |
| D | クラミジアによるもの | － | 梅毒、回帰熱 |

16 結核について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A 国民病と呼ばれ、現在でも日本人の死亡順位1位となっている。
- B 現在でも治療法は確立されておらず、ほぼ100%死に至る疾病である。
- C 予防接種は生後1歳に至るまでに直接BCG接種を行う。
- D 結核の医療に対しては、特に公費負担の制度などは設けられていない。

17 セレウス菌について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 環境中に広く存在し、食中毒の原因となることがある。
- B 一般的に強い毒性を持つ。
- C 熱やアルコールに耐性のある芽胞を形成する。
- D 抵抗力の弱い患者が使用する病院のリネンでは消毒をする必要がある。

18 腸管出血性大腸菌について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 毒力の強いベロ毒素（志賀毒素群毒素）を出し、溶血性尿毒症症候群（HUS）を引き起こすことがある。
- B 感染経路は、菌に汚染された飲食物を摂取することなどによる経口感染とその他に空気感染や接触感染である。
- C 食中毒の原因となっているものは、O157や他にO26、O111、O128、O145などがある。
- D 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において、就業の制限の対象となるのは、飲食物の製造、販売、調整や飲食物に直接に触れる業務となっている。

19 ノロウイルスについて述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。





- A ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、一年中発生するが特に冬期に流行する。
- B ノロウイルスで汚染されたリネン類は、85℃、1分間以上の熱水洗濯や次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が有効である。
- C ノロウイルスは乾燥すると、容易に空气中に舞い上がり、それが口に入って感染する。
- D ノロウイルスを完全に失活化させるには、アルコールや逆性石鹼が効果的である。

20 インフルエンザについて述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気で、特徴的な症状として38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等が現れる。
- B 流行前のワクチン接種は、感染後に発症する可能性を低減させる効果と、発症した場合の重症化防止に有効である。
- C 飛沫感染をすることから、流水・石鹸による手洗いは感染予防の有効な方法ではない。
- D 流行性があり、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡がり、例年12月～3月が流行シーズンである。

洗たく物の処理に関する知識

2 1 繊維製品の取扱いに関する表示記号とその意味について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A  パークロロエチレンでのドライクリーニング処理ができる。
弱い処理
- B  酸素系漂白剤による漂白処理ができるが、塩素系漂白剤による漂白処理はできない。
- C  洗濯処理後のタンブル乾燥処理ができる。
低温乾燥：排気温度の上限は最高80℃
- D  ウェットクリーニングによる処理ができる。
非常に弱い処理

2 2 毛繊維について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 羊毛は、湿潤状態で揉まれると繊維表面のスケールと呼ばれる鱗が絡み合い収縮し硬くなる。
- B 弾性があり、柔らかく保温性もあるので秋冬物に適している。
- C 保管中にイガなどの衣類害虫による食害を受けやすい。
- D 獣毛のカシミヤは、アンゴラ山羊から取れる毛で、絹のような光沢と柔軟性があり軽くて温かい。

23 ニットと比較した織物の特性について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A 引張強度が大きく、耐摩耗性に優れる。
- B ドレープ性が大きい。
- C ウォッシュ・アンド・ウェア性能が大きい。
- D 伸縮性が大きく、形くずれしやすい。

24 繊維製品の付属品の取扱いについて述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A ポリボタン（ポリエステル樹脂）は、割れにくく耐摩耗性はあるが、耐熱温度が高くないのでアイロンは直接当てない。
- B 樹脂ファスナーは、耐洗濯性に優れ、洗濯時は滑りが良くなるよう開いたままにする。
- C 面ファスナーのナイロンわなパイルは、プレスなどでつぶれやすい。
- D アクリルボタン（メタクリル酸樹脂）は、耐薬品性や耐熱性に優れる。

25 ドライクリーニングの特徴について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 衣類の型崩れや収縮は生じにくいですが、染色物に対する影響は大きい。
- B 石油系溶剤やパークロロエチレンなどの揮発性有機溶剤に専用洗剤を用いた洗浄方法である。
- C 溶剤を繰り返し利用するので、溶剤管理が必要である。
- D 油性汚れは簡単に除去できるが、水溶性汚れは除去しにくい。

26 汚れの成分を溶解性から分類した文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A たんぱく質は、油性汚れである。
- B 化粧品の油は、不溶性汚れである。
- C 泥やススは、不溶性汚れである。
- D 皮脂は、水溶性汚れである。

27 界面活性剤の働きについて述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 溶媒中に固形粒子を均一に分散する働きがある。
- B 分離した汚れを溶媒中に乳化したり可溶化する働きがある。
- C 一分子中に親水基と親油基を持ち、水中では親油基を内側にしてミセルを形成する。
- D 界面張力を上昇させ、被洗物と汚れに対し浸透、吸着、湿潤する働きがある。

28 ランドリー処理について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 石けんまたは洗剤、アルカリ剤を用い、ドラム式洗濯機で温水洗いをする洗濯方法である。
- B ワイシャツやシーツ、作業服は、白物であれば一緒に洗濯機に入れる。
- C 糊付けは、汚れが繊維に付着するのを防ぐ効果がある。
- D 水深は、被洗物が水を含んで停止した状態で測る。

29 ウェットクリーニングの対象品として、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A ポリ塩化ビニル樹脂製の合成皮革製品
- B 油性汚れが付着している毛素材の外衣
- C 脱落しやすい装飾品が付属している製品
- D 日光等で強度が低下したカーテン

30 皮革の性質について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A 染色堅ろう度が高く、クリーニング溶剤による色の変化は生じにくい。
- B 熱に耐性が高く、高熱による蒸気仕上げが適している。
- C カビが生えやすく、生えると収縮しやすい。
- D 水に濡れても柔軟性は変わらない。

洗たく物の処理に関する技能（I）

3 1 綿繊維の鑑別試験について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 繊維の形状は、細く扁平なりボン状で自然のねじれがあり、断面は不定形で中空部分もある。
- B アセトンに室温で溶解する。
- C 容易に燃え、速やかに燃え続ける。紙が燃える臭いがし、灰色の灰を残す。
- D 70%硫酸に室温で溶解する。

3 2 シミ抜きについて述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A 超音波シミ抜き機は、摩擦により生地を傷めにくく、水溶性のシミに対して効果が高い。
- B タンニン系の水溶性汚れには、アルカリ性のシミ抜き剤を使用するのが良い。
- C 成分不明のシミは、一番初めに油性処理をするのが良い。
- D シミ抜きブラシは、シミに対して強く擦るように使用する。

3 3 還元漂白剤に分類される薬品として、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A 過酸化水素水
- B ハイドロサルファイト
- C 次亜塩素酸ナトリウム
- D 過炭酸ナトリウム

3 4 シミ抜きに使用する酵素について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 熱や時間の経過で凝固した血液汚れには、たんぱく質分解酵素を使用する。
- B 繊維や染色を傷めやすい。
- C 温度、pH、水分、時間によって効果が左右される。
- D 長期間保存で活性を失いやすい。

3 5 ランドリーで使用する糊剤について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A ポリビニルアルコール（PVA）は、透明性が低いため、白物のランドリーに使用する。
- B ポリ酢酸ビニルは、水溶性の透明液体でウェットクリーニングや色物への糊付けに適している。
- C 古いでんぷん糊は、カビやすいので使用しない。
- D ポリエステルなどの合成繊維には、コーンスターチ等のでんぷん糊剤が適している。

36 けい光増白加工について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 生なり（きなり）やベージュ系などの淡い色の製品への加工に適している。
- B 繊維に適したけい光染料を用いないと染着しない。
- C 直射日光で黄変しやすいので日陰に干す。
- D けい光染料が過剰に付着すると、濃度消光という現象を起こして黄色化する。

37 人体仕上げ機について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A 布袋にズボンをはかせ、内部から蒸気や空気を噴出させて仕上げる。
- B 下ゴテにセットしたズボンや上着を上ゴテで挟み加圧して、蒸気を噴出、吸引しながら仕上げる。
- C コートや上着などをハンガーにつるして小室に入れ、蒸気を吹き付け仕上げる。
- D 布袋に衣類を着せ、内部から蒸気や空気を噴出させて背広やコートなどを仕上げる。

38 クリーニング処理に注意が必要な素材について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A ボンデットファブリックは、ドライクリーニング溶剤により可塑剤が溶出して硬化することがある。
- B 人工皮革製品は、低温アイロンであて布をして軽くかけるのが良い。
- C ポリウレタン弾性糸を使用した製品は、洗濯後、ポリウレタン弾性糸が布地表面に飛び出してくることがある。
- D 金属繊維を使用した製品は、着用等で生じたシワはアイロンをかけても伸ばしにくい。

39 仕上げの3条件について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A 水分、圧力、時間をいう。
- B 湿気、熱、圧力をいう。
- C 湿気、温度、時間をいう。
- D 熱、圧力、時間をいう。

40 繊維素材に対応するJISアイロン表示記号の組合せとして、誤っているものは下のA~Dのうちどれか。

A 絹



B レーヨン

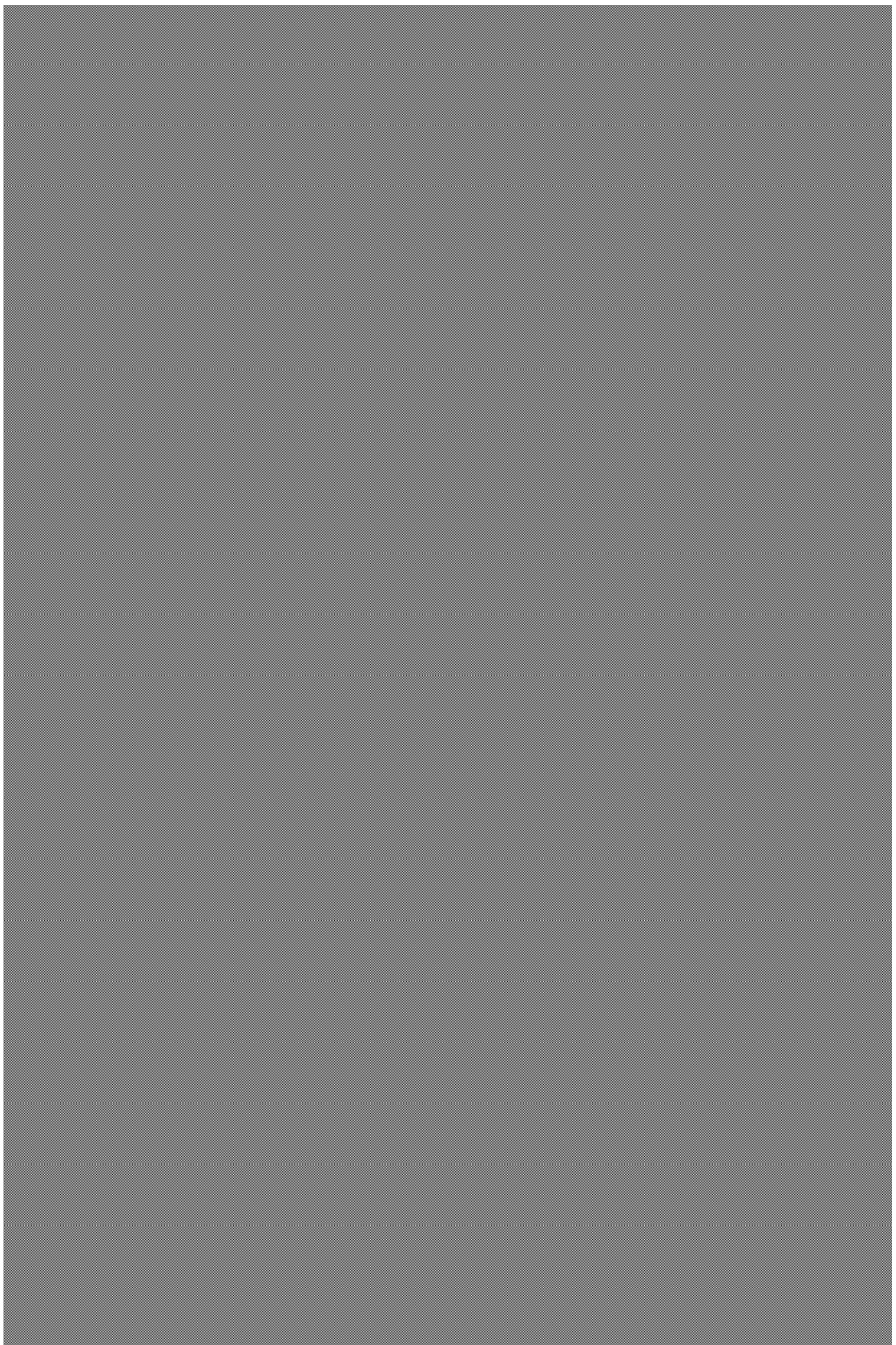


C ナイロン



D ポリ塩化ビニル





令和3年度

千葉県クリーニング師試験 実技試験問題用紙

【指示があるまで開いてはいけません】

(注意事項)

1 問題の解答は別に配付している答案用紙にマークしてください。マークは答案用紙のマーク記入例にならって、枠内を鉛筆またはシャープペンシルで濃くはっきり塗りつぶしてください。解答をまちがえた時は、消しゴムで完全に消してからマークしてください。正解は、1つの繊維及びシミにつき1つしかないのので、2つ以上マークしないでください。2つ以上マークした場合、その解答は無効になります。

2 答案用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。厚紙表紙の右下の受験番号欄に受験番号を記入してください。

3 試験は10分間で、問題の数は2問（解答数10）です。

4 繊維の鑑別についての注意点

- (1) 問題用紙とは別に繊維を貼付した厚紙①があります。繊維1～5に対して、正解と思う繊維名を「繊維の種類」ア～カから選び、答案用紙にマークしてください。
- (2) 繊維は外観や手ざわりから鑑別し、燃やしたり、折り曲げたり、切ったりしないでください。

5 シミの鑑別についての注意点

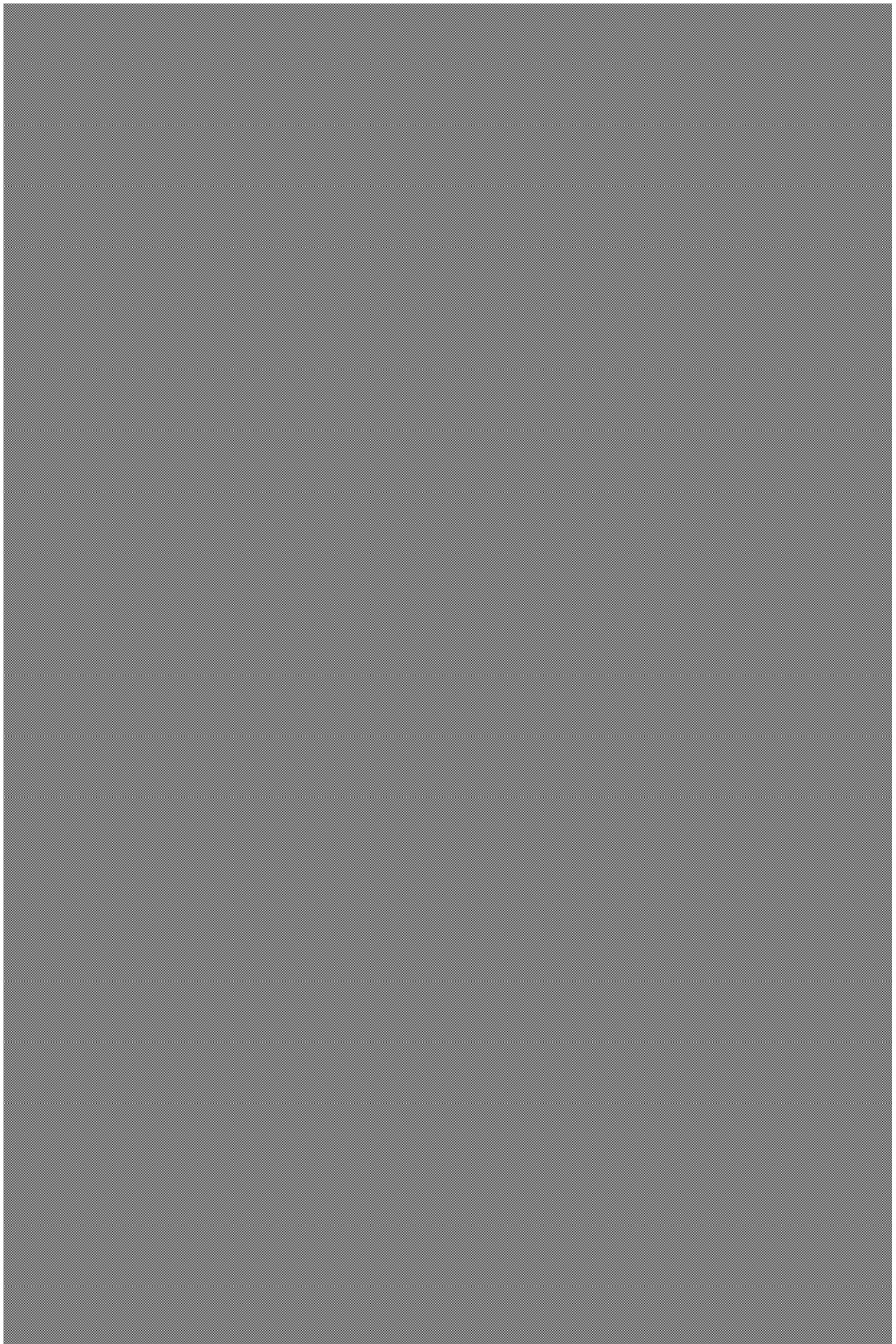
- (1) 問題用紙とは別にシミをつけた白色布を貼付した厚紙②があります。シミI～Vに対して、正解と思うシミ名を「シミの種類」ア～クから選び、答案用紙にマークしてください。また、それぞれのシミを落とすのに最も適した薬品を「シミ抜き薬品」A～Cから選び、答案用紙にマークしてください。

(2) シミは外観や手ざわりから鑑別してください。

(3) マーク記入例：シミの種類が「オ」、シミ抜き薬品が「C」の場合

シミの種類	<input type="radio"/> ア	<input type="radio"/> イ	<input type="radio"/> ウ	<input type="radio"/> エ	<input checked="" type="radio"/> オ	<input type="radio"/> カ	<input type="radio"/> キ	<input type="radio"/> ク
シミ抜き薬品	<input type="radio"/> A	<input type="radio"/> B	<input checked="" type="radio"/> C					

6 試験終了時、答案用紙及び厚紙①②を回収します。この問題用紙は、持ち帰ることができます。



問 1 (繊維の鑑別)

厚紙①に貼付してある 1～5 の繊維を外観や手ざわりから鑑別して、下記「繊維の種類」(ア～カ)の中から該当するものを 1 つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

なお、同じ記号を複数の解答欄にマークした場合は、その記号がマークされた解答は全て無効とします。

【繊維の種類】

ア：キュプラ

イ：ポリエステル

ウ：麻

エ：毛

オ：アクリル

カ：絹

問2 (シミの鑑別)

厚紙②に貼付してある白色布に付着した I～V のシミを外観や手ざわりから鑑別して、下記「シミの種類」(ア～ク)の中から該当するシミを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

また、それぞれのシミについて、シミ抜き処理に最も適する薬品を下記「シミ抜き薬品」(A～C)の中から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

なお、「シミの種類」(ア～ク)について同じ記号を複数の解答欄に記入した場合は、その記号が書かれた解答は全て無効とします。

【シミの種類】

ア：油性ボールペン

イ：油性マジック

ウ：赤ワイン

エ：鉄サビ

オ：口紅

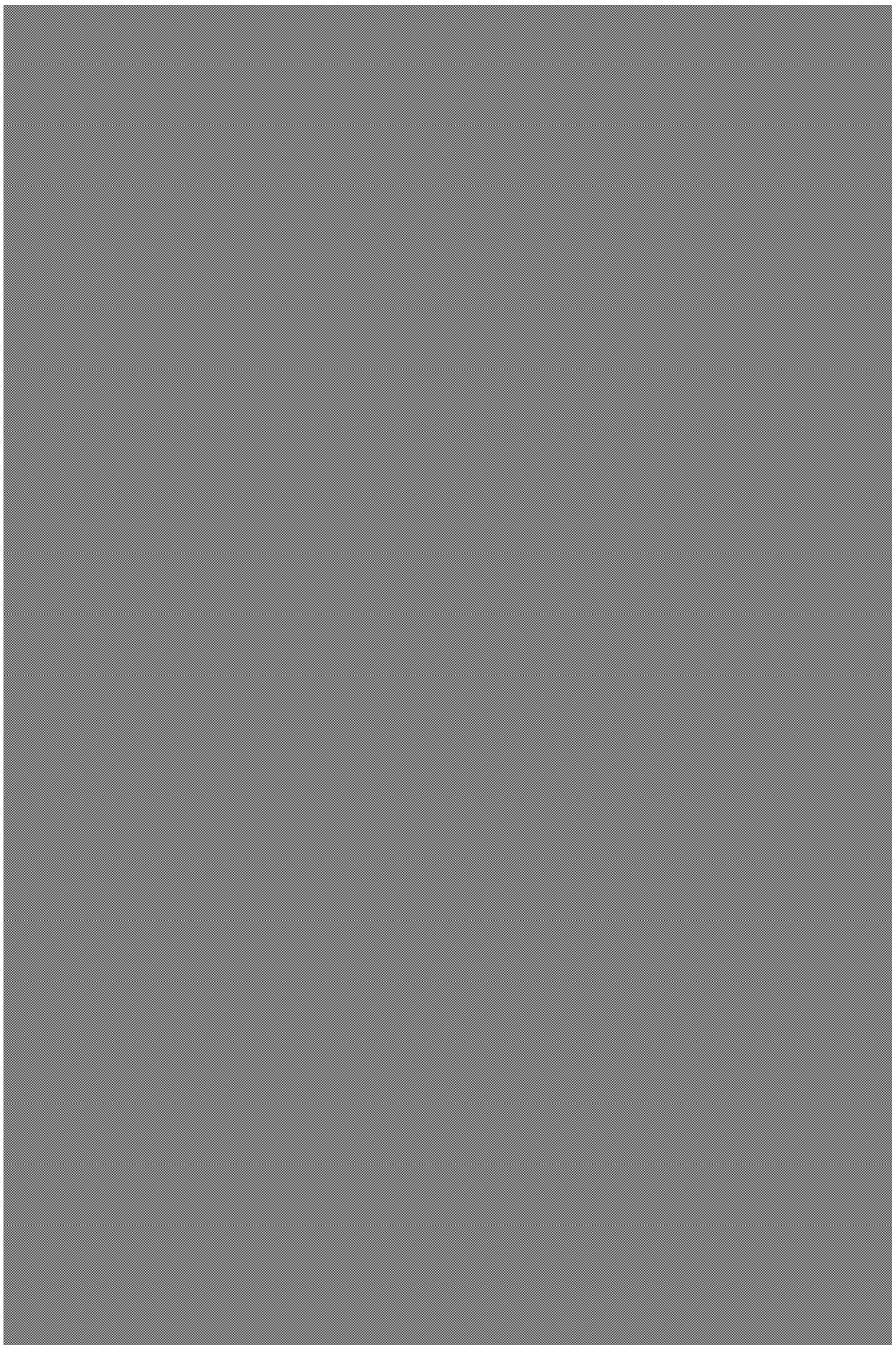
カ：カビ

キ：しょう油

ク：墨汁

【シミ抜き薬品】

シミ I	A：しゅう酸 B：石油系溶剤 C：過炭酸ナトリウム
シミ II	A：次亜塩素酸ナトリウム B：シンナー C：固形石けん
シミ III	A：タンニン系シミ抜き剤 B：石油系溶剤 C：たんぱく系シミ抜き剤
シミ IV	A：ヒドロサルファイト B：タンニン系シミ抜き剤 C：石油系溶剤
シミ V	A：しゅう酸 B：ジメチルホルムアミド C：中性洗剤



令和3年度千葉県クリーニング師試験 解答

- 筆記による出題は40問（解答数40）、実技は繊維とシミをそれぞれ5種類ずつ鑑別する。

衛生法規に関する知識		公衆衛生に関する知識		洗たく物の処理に関する知識	
1	A	11	B	21	B
2	D	12	A	22	D
3	C	13	B	23	A
4	B	14	D	24	C
5	D	15	B	25	A
6	D	16	C	26	C
7	A	17	B	27	D
8	B	18	B	28	B
9	C	19	D	29	B
10	B	20	C	30	C

洗たく物の処理に関する技能 (I)		繊維の鑑別		シミの鑑別・シミ抜き薬品	
31	B	1	毛 (エ)	I	鉄サビ(エ) A
32	C	2	絹 (カ)	II	油性マジック (イ) B
33	B	3	キュプラ (ア)	III	しょう油 (キ) A
34	B	4	アクリル (オ)	IV	口紅 (オ) C
35	C	5	麻 (ウ)	V	油性ボールペン (ア) B
36	A	×	ポリエステル (イ)	×	赤ワイン (ウ) ×
37	D			×	カビ (カ) ×
38	A			×	墨汁 (ク) ×
39	B				
40	A				

